

# 家畜の伝染病の 侵入防止への 協力のお願い



今、世界では**アフリカ豚熱**と**口蹄疫**という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。  
これらは、**肉製品や衣服、靴などを介して感染拡大**します。  
これらが日本に侵入すれば、**畜産物の安定供給に深刻な悪影響**を与えるおそれがあります。  
国内への侵入を防ぐため、皆様の協力が必要です。

## 01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

### アフリカ豚熱 (ASF)



#### 特性

- 致死率はほぼ100%（甚急型、急性型の場合）
- ウイルスは長期間にわたって環境中に生存（冷凍なら**1,000日**以上も）
  - pH4～11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品（塩漬ハム等）の中でも生存できる

#### 予防・治療

有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

#### 損害

中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に（2019年の事例）

### 口蹄疫 (FMD)



#### 特性

- 口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下
- ウイルスの感染力が極めて強い
  - 空気感染する（風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も）
  - 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

#### 予防・治療

有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

#### 損害

過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害  
（2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む）

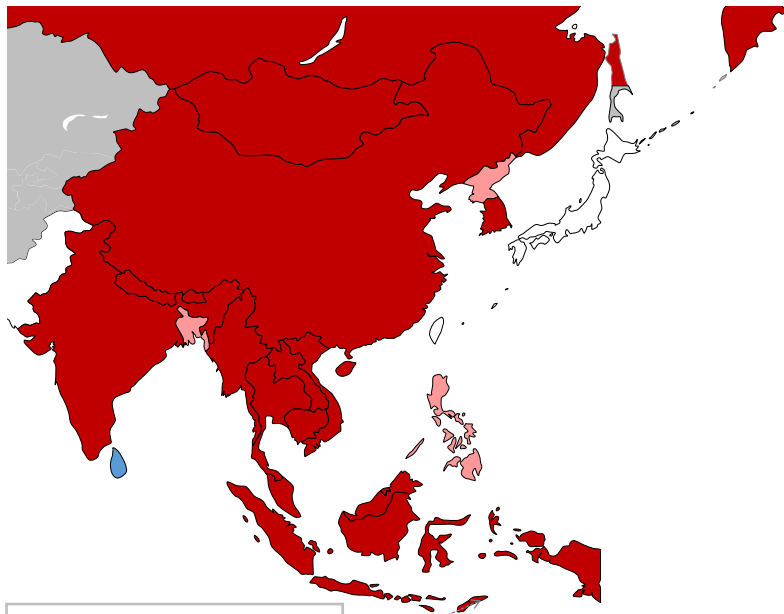
※ いずれの病気も **人への感染の心配はない**注

注：海外では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に接して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の生活の中で人に感染することはない。  
万が一感染した場合は軽い発熱や口内炎になる程度で速やかに回復し、死亡例はない。

## 02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
- 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
- **いずれの病気も発生していないのは日本や台湾などごく限られた国・地域※。**

※ 日本や台湾では過去に口蹄疫が発生したことがあるが、その後清浄化している。



■ : アフリカ豚熱・口蹄疫が発生している国・地域  
 ■ : アフリカ豚熱のみ発生している国・地域  
 ■ : 口蹄疫のみ発生している国・地域  
 □ : いずれも発生していない国・地域

2024年1月10日時点  
 出典：WOAH、各国のウェブサイト等  
 注1：本資料における「発生」はWOAHに報告されたもの  
 注2：初発生年はWOAHに発生が報告された年  
 注3：口蹄疫発生国・地域は2021年以降で、括弧内は発生数

### アフリカ豚熱の初発生年

国・地域名	初発生年
中国	2018年
香港、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー インドネシア、東ティモール	2019年
インド	2020年
マレーシア、タイ、ブータン	2021年
ネパール	2022年
シンガポール、バングラデシュ	2023年

### 口蹄疫発生国・地域

国・地域名	発生年
中国(2)、ロシア(1)、ベトナム(28) カンボジア(41)、マレーシア(21)、タイ(47) インド(105)、ブータン(24)、ネパール(40) モンゴル(102)、スリランカ(36)	2021年
中国(1)、カンボジア(24)、タイ(108) マレーシア(28)、インドネシア(不明) インド(103)、ブータン(3)、ネパール(66) モンゴル(3)、スリランカ(57)	2022年
中国(4)、韓国(11)、ネパール(15) カンボジア(3)、マレーシア(7) インドネシア(不明)	2023年

注：検査体制や、まん延により報告が十分でない場合やワクチンにより発生が見えにくく汚染状況と発生数が一致していない場合がある。

## 03 侵入を防ぐためにできること

### 1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を**動物が食べる**と感染
- 不法持込された肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見

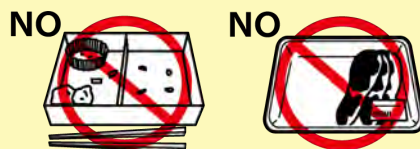
#### 持込禁止



### 2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残し、ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレーをイノシシが舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**でアフリカ豚熱がまん延し、根絶が困難に

#### 野外放置禁止



### 3 帰国後1週間は動物に近づかない

- **服や靴についたウイルス**を介しても感染



注意



海外からの旅行者の皆様へ

# アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。



1

肉を含む食品は、  
野外で絶対に捨てないでください！



2

靴の土は落としてから外出しましょう。



3

家畜がいる施設に  
近寄らないようにしましょう。



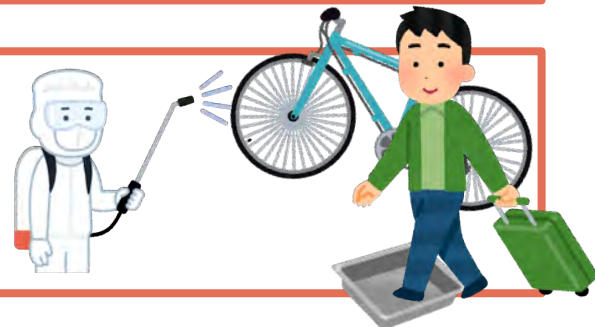
4

野生イノシシや罾・柵がある地点に  
近寄らないようにしましょう。



5

消毒ポイントでは  
指示に従ってください。



일본으로 입국하시는 여러분께!

# 아프리카돼지열병 바이러스 유입방지



1

고기를 포함한 식품은  
절대 야외에서 버리지 마세요!



2

신발에 묻은 흙은 반드시 털고  
난 후에 나가 주세요.



3

가축이 있는 축사 등에는  
접근하지 않도록 해 주세요.



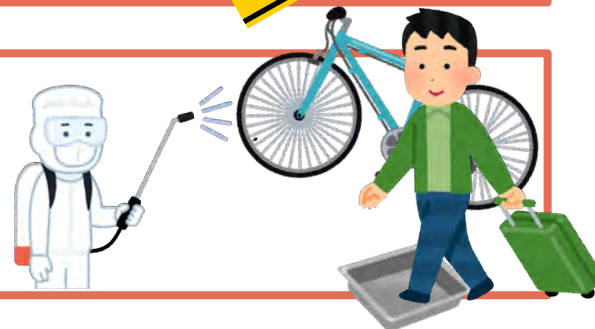
4

야생 멧돼지나 멧이나 울타리가  
있는 곳에는  
접근하지 않도록 해 주세요.



5

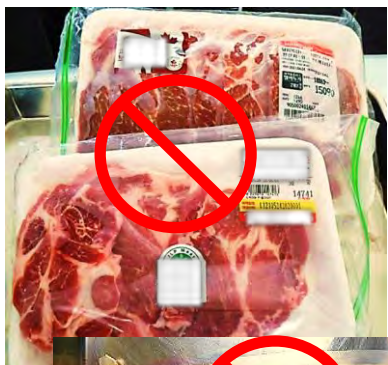
소독하는 곳에서는  
지시에 따라 주세요.



# 일본에 오시는 여러분께 부탁



**육제품이나 과일·야채 등은 일본으로 반입할 수 없습니다!**



**· 국제우편으로도 보낼 수 없습니다. 모국의 가족이나 지인에게도 육제품이나 과일·야채 등을 보내지 않도록 전해 주십시오.**

(국제우편으로 검사를 받지 않은 육제품, 과일·야채 등을 받은 경우는 동물검역소 또는 식물방역소에 연락해 주십시오.)

- 해외에서 사용한 오염된 작업복, 작업화, 장화는 가져오지 마십시오.
- 일본으로 오기 전 1주일 간은, 가축을 만지지 마십시오. 또, 일본으로 와서 1주일 간도 가축을 만지지 마십시오.



- 해외에서 일본으로 육제품이나 과일·야채 등을 반입하는 것은 법률로 엄격히 제한되어 있습니다.
- 일본으로 육제품이나 과일·야채 등을 반입하면 3년 이하의 징역이나 300만엔(법인의 경우 5,000만엔)이하의 벌금 등 무거운 처벌의 대상이 됩니다.
- 악질적인 반입시도라고 판단될 경우 경찰에 통보하고 있습니다
- 불법 반입으로 체포된 사람도 있습니다.
- 반입할 수 없는 축산물을 가지고 있는 경우 입국이 거부되는 경우가 있습니다.



**MAFF**

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries



동물검역소



식물방역소

## 来日するあなたへのお願い

肉製品や果物・野菜等は日本に持ち込めません！



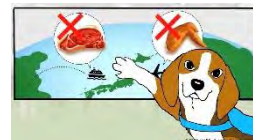
- ・ **国際郵便でも送れません。母国の家族や知人に国際郵便で肉製品や果物・野菜等を送らないように伝えてください。**

(国際郵便で検査を受けていない肉製品、果物・野菜等を受け取った場合は動物検疫所又は植物防疫所に御連絡ください。)

- ・ 海外で使用した汚れた作業着、作業靴、長靴は持って来ないでください。
- ・ 日本に来る前1週間以内に、海外の家畜に触れないでください。また、日本に来てから1週間は、家畜に触れないでください。



- ・ 海外から日本への肉製品や果物・野菜等の持込みは法律で厳しく制限されています。
- ・ 日本に肉製品や果物・野菜等を違法に持ち込むと重い罰則（3年以下の懲役又は300万円以下（法人の場合は5,000万円以下）の罰金等）の対象になります。
- ・ 悪質な持込みと判断したら警察に通報します。
- ・ 違法な持込みにより、逮捕された人もいます。
- ・ 輸入できない畜産物を持っている場合、入国が認められないことがあります。



農林水産省



動物検疫



植物防疫